

平成17年度 第2回 北九州市地方独立行政法人評価委員会

(議事要旨)

- 1 日 時： 平成17年5月9日(月) 13:30~14:50
- 2 場 所： 市役所庁舎 5階 特別会議室A
- 3 出席者：
 - 委 員(五十音順)
 - ・石田委員長、片山委員、城水委員、福地委員、(中島委員は欠席)
 - 市 側
 - <総務市民局>
 - ・梅本経営企画室長、坪根経営企画室主幹 他
 - <産業学術振興局>
 - ・尾上産業学術政策部長、川之上学術振興課長 他
 - <公立大学法人北九州市立大学事務局>
 - ・丸山事務局次長、山本経営企画課長、江島経営企画室主幹、福島総務課長
- 4 議 題
 - (1) 審議事項
 - 中期目標(案)
 - 中期計画(案)
 - (2) その他・次回委員会について

5 議事 (要旨)

<p>石田委員長</p>	<p>(1) 中期目標(案)</p> <p>・それでは、本日の最初の議題、中期目標の案について審議します。</p> <p>中期目標については、市長は、あらかじめ、法人の意見を聴き、当該意見に配慮しなければならないと規定されており、4月1日に法人が発足したことから、法人の意見にも配慮した中期目標が本日、提出されております。</p> <p>内容は、当委員会として2回に亘り、当委員会で審議を行ってきましたが、その意見を踏まえ、修正された形で提案されています。</p> <p>中期目標については、市長は、あらかじめ、評価委員会の意見を聴くとともに、議会の議決を経なければならないと規定されており、別紙のとおり当委員会に意見を求める通知が来ています。</p> <p>大学の運営上、中期目標は大学に早期に指示する必要がある、6月の議会で議決を経たいということなので、本日は、当委員会としての最終的な結論を出したいと考えております。どうぞよろしくご審議いただきたいと思ます。それでは、所管局から中期目標の案について説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">産業学術振興局より資料1について説明</p>
<p>石田委員長</p>	<p>・委員の皆様、ご意見等があればお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>・3ページの教育の実施体制の整備の所に教育研究組織を整備するとありますが、今現在すでに何かありますか。</p>
<p>産学局</p>	<p>・現在の学部、大学院などの組織に加え、時代の変化、教育環境の進展などのニーズに合わせて見直すという意味です。</p>
<p>委員</p>	<p>・計画に出てくる共通教育センターその他のことと考えていいですか。</p>
<p>産学局</p>	<p>・そうです。</p>
<p>石田委員長</p>	<p>・特に意見が無いようですので、事務局から意見書の案を配付いただき、これをご覧いただきたいと思ます。</p> <p style="text-align: center;">事務局より意見書案の配布</p>
<p>石田委員長</p>	<p>・すでに何回か審議してきましたので、ただ今お配りした意見書のとおり、</p>

	<p>この中期目標案は、当委員会で審議した結果、適当であるということを当委員会の結論としてよろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">各委員了承</p>
<p>石田委員長</p>	<p>・では、これを正式の意見書として進めていただきたいと思います。これは、当委員会の要綱に基づき、市のホームページに掲載しますので、ご承知いただきたいと思います。</p>
<p>石田委員長</p>	<p>(2) 中期計画(案)</p> <p>・次に、中期計画(案)について審議をお願いします。</p> <p>中期計画については、市長から中期目標の指示を受けて法人が策定し、市長の認可を受ける必要があります。また、あらかじめ、評価委員会の意見を聴かなければならないと規定されていることから、これまで中期目標(案)とあわせて当委員会において審議してきました。</p> <p>中期目標は議会の議決を必要とするため、市長からの指示は議会の議決後になりますので、中期計画について正式に評価委員会の意見を決定するのは、6月の議会議決以後になります。</p> <p>しかし、中期計画は、年度計画を策定するために必要であり、大学の運営上、中期目標の指示後、すみやかに策定することが望まれますので、中期計画案についても事前に審議し、当委員会として意見を集約しておきたいと考えております。内容が多岐にわたりますが、つぶさにご審議していただきたいと思います。では、大学の方から内容の説明をお願いします。</p>
<p>北九大</p>	<p>・中期計画は、本来、中期目標を受けて策定するのですが、大学の方では1年前から準備をしています。先ほどご審議いただいた中期目標を念頭において、学部長あるいは学部長経験者が草稿委員として原案を書き、学長、副学長、学部長からなる学内の準備委員会で何度も議論しながら、この全体像を作りました。実質的には20数回議論をして、現在の形になりました。</p> <p>そして、4月12日に開催しました教育研究審議会と、4月19日に開催しました経営審議会及び役員会において、基本的な方向については了解いただきました。ただし、169項目を6年間でどう実現していくかを大学内で検討してもらいたいという意見をいただきましたので、先生方を中心にワーキングを立ち上げ、年度計画を含めて検討しています。それでは、計画案の詳しい内容については、担当課長から説明します。</p>

大学より資料2について説明	
石田委員長	・委員の皆様、ご意見等ありましたらよろしく申し上げます。時間的にはまだ余裕がありますので、ご意見を出していただき、よりよい計画にすべきではないかと思えます。
委員	・社会貢献の中に初等中等教育との連携、教育研究組織の整備の中に大学院の再編がありますが、北九州市立ということを見ると、市の小・中・高と連携を深めることが今後非常に大事だと思います。そういう意味で、優秀な教員を育成して、市内の小・中・高に送り込むことによって、その卒業生がまた大学に入ってくる。もちろん今までも優秀な教員の養成をやってきていると思いますが、それに加えて、例えば専門職大学院を作り、現職の教員に1、2年間の再教育を行うといったことが大事だと思いますが、今現在、どのような取組を行っていますか。
北九大	・大学院の修士課程に現職の高校の教員の方とかが在籍しており、それなりの効果は出ています。大学院の再編の中で、専門職大学院の検討あるいは文系の修士課程の再検討も予定されているので、教員の再教育については、その中で検討されると思います。
委員	・大学の将来の充実のためにどうぞよろしく申し上げます。
委員	・2 - 2に大学院の充実、2 - 5に大学院の学生確保がありますが、現在の学部生で成績優秀な者について、入学金の減免など優遇して行う推薦入学制度は実施していますか。
北九大	・制度としてはありませんが、事実上は、大学院に進学する希望者は、かなりの割合で大学院に入学しています。
委員	・工学系は問題ないのですが、文系の場合、そういうことが少ないようですので、できれば制度としてあれば、優秀な学生が無条件で行けると思えます。
北九大	・工学部には飛び級制度があり、3年で大学院に進んだ例はあります。
委員	・大学院の中での飛び級はありますか。例えば5年かかるところを4年で学

	位を与えらるか。
北九大	・研究科が出来て3年目なので、まだそういう事例はありません。
委員	・2 - 6に教授半数制の見直しとありますが、現状と目標値があれば教えてください。
北九大	・慣例的に教員総数の半数を教授とすることにしていますが、優秀な教授を採用できないとか、助教授が教授になれず他大学に転出するなどマイナス面もあったので、是正するよう準備していますが、数値的なものは今後検討します。教授昇任基準を作り、それを満たせば、ある程度まで増やせるとい方向で準備しています。
委員	・優秀な先生の流出を防ぐということですか。
北九大	・それと優秀な先生を教授として採用できるという面もあります。
委員	・2 - 10の社会貢献に関する部分をA3の概要版の右下の部分にもう少し分かりやすく整理していただきたい。例えば、市民向け相談窓口の開設を図るとありますが、ここで全ての相談を受け付けるのかとか。多分、この概要版が市民の方の目に触れることが多いと思うので、10ページの所は分かりやすいのですが。
委員	・産業社会研究所というのは、この計画のどこに取り込まれていますか。
北九大	・大きな項目でいえば、学部・学科の再編のところ。博士課程の社会システム研究科がありますが、ここと統合できないかとか、北九州の総合課題を研究できるようにもう少し拡充しなければならないとか、いろんな意見もありますので、大学院や地域の他の研究所との連携をどうするかについて今後検討していくようになります。
委員	・専門職大学院の検討とありますが、具体的に構想はありますか。ロースクールの合格率の現状などを考えると、ニーズがどこまであるのか疑問です。
北九大	・現在、ニーズ調査を含めて大学でどういう内容を提供できるのかを考えて

	いこうとしています。
委員	・高校の総合学習への協力という項目がありますが、今、総合学習というのは残っているのですか。なくなるという話も聞いたのですが。
北九大	・この時点（計画策定時点）ではまだ、無くなるという話は出ていませんでしたので。動きはあろうかと思いますが。
委員	・2 - 21の資金計画のところで、前期中期目標の期間よりの繰越金が8500万円計上されていますが、前の期間というのがまだないので、0ではないでしょうか。
北九大	・これは、平成16年度決算の繰越しの見込みの数字をそのまま使いました。
委員	・収支計画に見合った貸借対照表を作るのは、無理ですか。
北九大	・今準備していますが、完成していません。
委員	・就職支援の中でインターンシップのことがありますが、今現在、行われていますか。
北九大	・現在、北九州市と福岡県の大学連合を中心に行われています。今後、強化する必要があると認識しています。
委員	・将来的には単位認定をしてあげるのが正しいと思います。大学に戻ってきたときの学習意欲の向上や、就職に限らず幅広く社会のいろんなことを知るという面からインターンシップを充実することは必要だと思います。イギリスは、1年間のインターンシップと単位認定を認めています。
委員	・教職課程を取って実際教員になるのは、どのくらいいますか。
北九大	・現役で教員になれるのは、10人以下です。非常に採用が少ない状況が続いており、非常勤からスタートして何年か経験して正規の教員になるというパターンがほとんどです。今後、変わってくると思いますが。
委員	・市立大学という性格からいって、市内の学校に教員を送り込んでもいいと

	<p>いう気がするので、教職センター等を設けて教職課程を充実させるなど検討いただきたい。</p>
委員	<p>・ 2 - 17 の人権意識の啓発の所ですが、セクシャルハラスメントやアカデミックハラスメントの委員会はすでに出来ていますか。</p>
北九大	<p>・ 学長を委員長とするセクシャルハラスメント問題協議会はすでにあります。アカデミックハラスメントについては、今後の検討課題です。</p>
委員	<p>・ セクハラ委員会に弁護士とか民生委員とか外部の方は入っていますか。</p>
北九大	<p>・ 問題協議会は、学内の構成員ですが、調査委員会には学外の有識者を考えています。</p>
委員	<p>・ 学外の人に加わるというのもう一つ、セクハラ等があった場合に相談できる窓口があるというのが大事。それがないと潜在化してしまうので。学生はもちろん教職員が気楽に相談できることが大事。</p>
北九大	<p>・ 窓口については、学生、職員に周知することとしています。また、メールでも相談できるようになっています。</p>
委員	<p>・ 運営費交付金のことを伺いたいのですが、独立行政法人になってできるだけ自主財源で運営するという目的があると思いますが、18 ページを見ると足りない部分を運営費交付金としています。運営費交付金について6年間の数値的な目標はありますか。</p>
北九大	<p>・ 平成17年度の運営費交付金の基本的な考え方として現在の教育・研究内容の維持ということで、算定しています。今回初年度だったので、今後2～3年間かけて運営費交付金のルールを作るようにしています。</p>
委員	<p>・ 外部資金の導入とか、研究委託費・研究助成費などがあると思いますが、その辺も含めて検討するのですか。</p>
北九大	<p>・ 外部研究費をどう獲得していくかを含めて検討していきます。 運営費交付金について、学生一人あたりの額が一番簡単な考え方だと思いますが、一番いい指標を検討したいと思っています。</p>

委員	・それについては、経営審議会で検討することになると思いますが、そこには各学部長も加わりますか。
北九大	・経営審議会には、学長・副学長が入っています。
委員	・学部の意見もある程度そこに入るわけですね。予算の配分その他学部の主張がありますので。
産学局	・経営審議会と教育研究審議会があるのですが、教育研究審議会では、個別の教員の人事等を行い、経営審議会では教員の数、制度等の全体の枠について決めます。経費の使途については、今まで予算の費目に縛られて流用が難しいことがありましたが、これからは大学の工夫で、ある程度自主性を持って使えるようになると市として期待しています。
委員	・2 - 13の学部運営のところで、学部長の選出方法の見直しとありますが、案はありますか。
北九大	・17年度の学部長は、今までの方が継続しています。この方の任期は1年です。その間に選出方法を検討したいと思います。今までは、学部の構成員の選挙で選ばれていました。
委員	・学長の選出方法はどうですか。
北九大	・学長選考会議で選出されるようになっていきます。国立大学では、今まで学内選挙で選ばれていましたが、それをなくすところも増えています。独立法人制度の中で、学長の選出については、学長選考会議を作ることになっています。4月に法人が発足しましたので、しかるべき時期に学長選考会議が出来ます。選考会議の人数について、教育研究・経営審議会から3人ずつという枠組みも決まっています。選考システムをどうするかについて、選考会議で決めていきます。
委員	・教員の研究費や図書費などの予算配分はどうやって決まっていますか。例えば、一人当たりいくらという形で決まっているのか、あるいは、学部で取りまとめて要求があるのか。

北九大	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究費については、理科系と文科系に分かれています。理科系は教授と助教授で額が違います。文科系は、同額です。経済学部は、教員評価によって配分を決めるようになっていますが、17年度以降それを全学部に広げようと準備を進めています。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・教員評価と予算配分がリンクするというのは、大変いいことだと思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・2 - 6でサークル会館の整備とありますが、今そういったものはないのですか。
北九大	<ul style="list-style-type: none"> ・北方キャンパスにあります。建築されて30年以上経ちますので、それをどうするかが課題になるということです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これから少子化で場合によっては定員が減っていくと思われそうですが、空き教室の有効活用はできないですか。予算でいえば、施設・設備整備費の12億円の中に含まれるのですか。
北九大	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な計画はなかったので、ここには計上していません。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・収支計画で30億円ほど減価償却費が入っていますが、前の市の分からそのまま引き継いでいるのですか。設備支出分から考えると30億という減価償却は出てこないと思いますが。
経営企画室	<ul style="list-style-type: none"> ・それは調べてご報告します。
石田委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他にご意見ございませんか。 <p>これからの大学そのものが、いろんな意味で難しい段階に入っていきますから、独立行政法人という形で、特色のある研究、教育あるいは、存在価値のある大学を目指さなければならないので、具体的な計画がしっかりとしてそれに基づいて運営がされる、その結果をこの委員会が評価をするということになります。</p> <p>本日いろんな意見が出されましたので、それを集約してご検討いただきたい。研究・教育については、教授会その他法人のお考えが、予算その他運営については、経営審議会のお考えがあるでしょうから、当委員会での意見をお伝えいただいて、今後の計画策定に寄与する形でやっていただきたいと思っています。</p>

経営企画室	<p>それでは、今後のスケジュール等、事務局からご説明をお願いします。</p> <p>(3) スケジュール等</p> <p>・本日の評価委員会の審議の中で、中期目標については適当であると意見をいただいていますので、今後市長において6月の定例議会に諮られ、その議決を経て、法人側に中期目標を指示するとともに公表いたします。法人は、この中期目標に基づき中期計画を策定し、市長に認可申請を行います。認可に先立って当評価委員会の意見を聴くということになっています。</p> <p>したがって、次回平成17年度の第3回委員会では、今日を含めて3度に亘り審議をいただいています中期計画についての最終のご審議をお願いしたいと思っています。それとあわせて、当委員会の重要な業務である評価について、評価の方針等、内容については委員長と相談の上、これについても検討をしていただきたいと思います。その参考として、法人側で作成いただく年度計画の案についてもお示しいただきたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">次回委員会の日程調整</p>
経営企画室	<p>・それでは、次回委員会は、7月4日(月)の14:00でお願いしたいと思います。</p> <p style="text-align: center;">中島委員の肩書き変更について事務局より説明</p>
経営企画室	<p>・若干補足させていただきます。次回、中期計画の最終審議ということですが、あわせまして、いよいよ当委員会としての評価方針あるいは評価の尺度についてですが、おそらく一回では決まらないと思いますので、1、2回かけてご審議をいただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。</p>
経営企画室	<p>・産業学術振興局と大学にお願いしておきたいのですが、評価については、国立大学やその他の大学で先行しているところがあるので、できるだけ情報共有すること、大学の負担軽減の意味もあるので、十分な意思疎通を図りながら、進めさせていただこうと思っています。ご協力よろしくお願いします。</p>
石田委員長	<p>・次回、中期計画について最終審議をした後、大学の年度計画を報告いただくと同時に、当委員会でのいわゆる本来的な職務になる評価をどういう形で行うのかをご審議いただくということで、その際には、国立大学その他の大</p>

	<p>学の評価を参考にしてご審議いただく。その資料はある段階で、各委員に送付いただくということによろしいですか。</p> <p>それでは、これをもちまして終了したいと思います。</p> <p style="text-align: center;">委員会終了</p>
--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------